

3D技術による思考の転換

ガンダムやドラえもんから怪獣まで、かつてはミニチュアが、今ではスケール競技と語源を同じくするフィギュアと言う一方で、3Dプリンターの導入によって、容易にデータの再現が可能となった。工業界では世界をリードしてきた金型産業への影響を懸念する声さえ上がっている。医学、美術などあらゆる分野においても進歩のスピードアップに寄与している。▼実験考古学の分野において、過日、古代史の謎のひとつとされていた三角縁神獸鏡(銅鏡)を再現し、祭器として、可視化に成功した。これにより、三世紀の国づくり、権力の形成過程などの一コマが、科学的に立証されたと報道された。この銅鏡は希少な遺物であり、直接分析するには限界があった。しかし、3Dプリンターにより、いかようにも扱える再現化は可視化を可能とした。なぜ鏡は合金でありながらこれほど薄いかという謎の解明を裏付けした。今後、歴史に新しい事実が出てくることも期待できる。▼3Dは私たちに慣れ親しんできた平面的な記録を、現実と同様、三次元的視野へと導き思考も変化するのではなからうか。後に21世紀の産業革命といわれるであろう現在の情報通信は多くの課題を露呈しつつも、次なる社会へとひた走っている。(市長)

広告